

Calibration Verification Gauge (校正確認ゲージ)使用ガイド

本ガイドはオプションの校正確認ゲージを使用するための手順を示すものです。

1. ゲージの取扱い

ゲージは精密光学部品ですので取扱いには十分ご注意ください。
ゲージが曇ったり汚れたりするとカメラ取込が不十分となり正確な測定が出来ません。ディフューザー（本体上の溝サンプルを置くところ）やゲージは市販のカメラ保守用エアブラシやレンズクリーナー等で保守して下さい。ゲージのガラス部分は決して手を触れないでください。指紋汚れなどにより正確な計測ができなくなります。手で触れてしまった場合などはクリーナーで清掃してください。

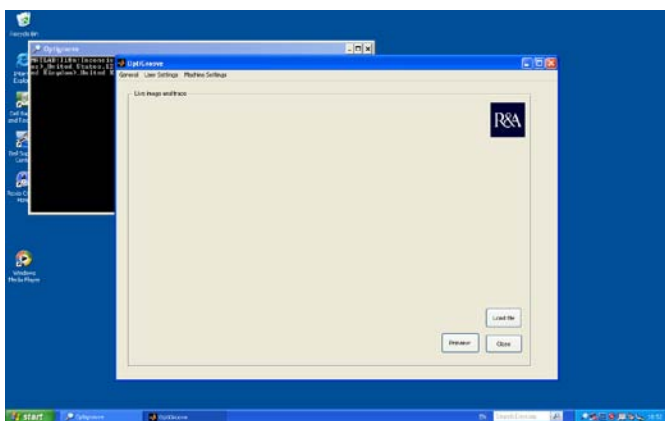


（ケース及びゲージ本体）

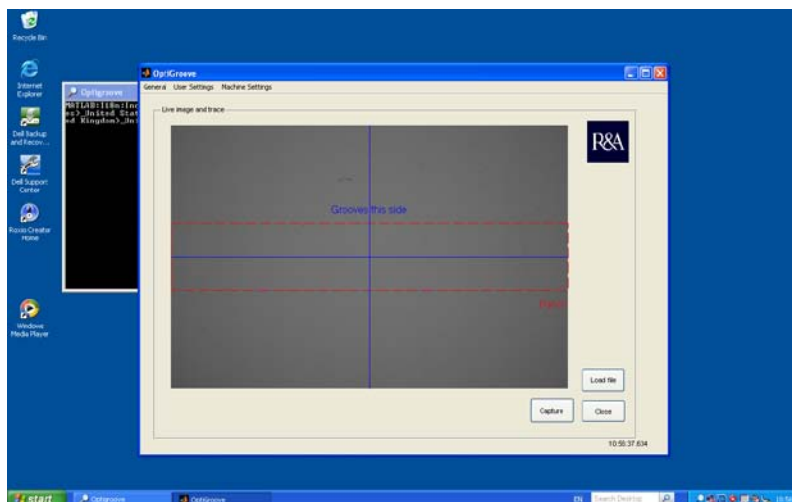
ゲージをケースから取り出す時は無理にこじ開けようとせず、**ケースの裏側から内ケースと外ケースの隙間から親指の爪などを使って外ケースを押し上げるようにすると簡単に外れます。無理に引っ張るとケースが破損する**場合があるためご注意ください。

2. ラップトップ側の準備

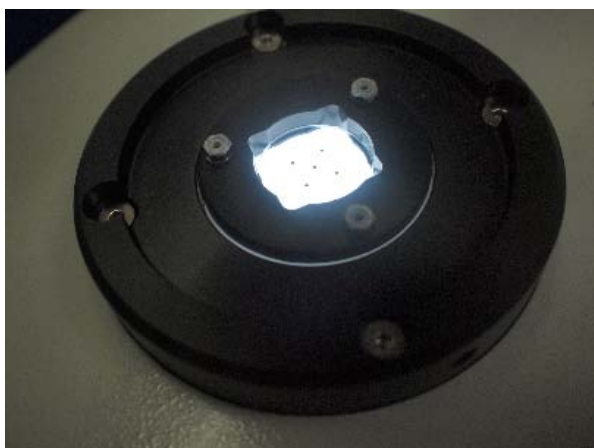
Optigroove のアイコンをダブルクリックして下記のようにプログラムを立ち上げる。



3. **Preview** ボタンを押し通常の計測画面を立ち上げる。



3. 較正ゲージを **OptiGroove** のディフューザーの上に置く。ボルトが3つついている方を上にする。向きは指定はない。

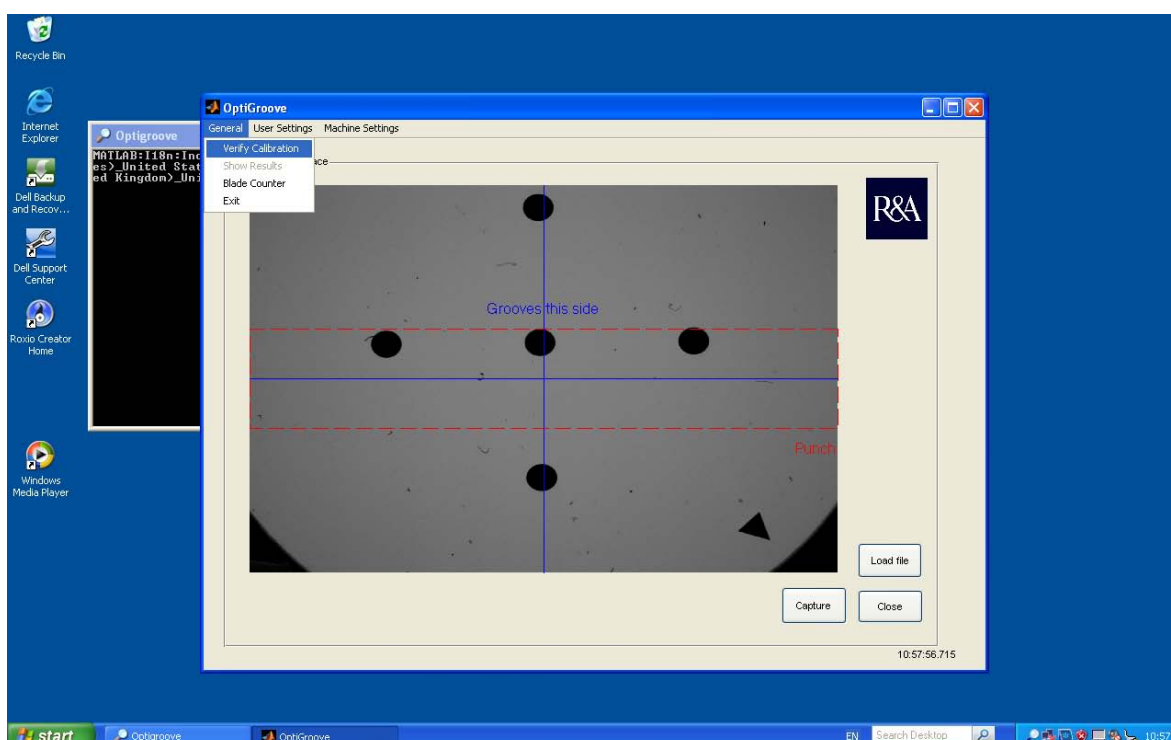


4. シールドカバーをかぶせる。



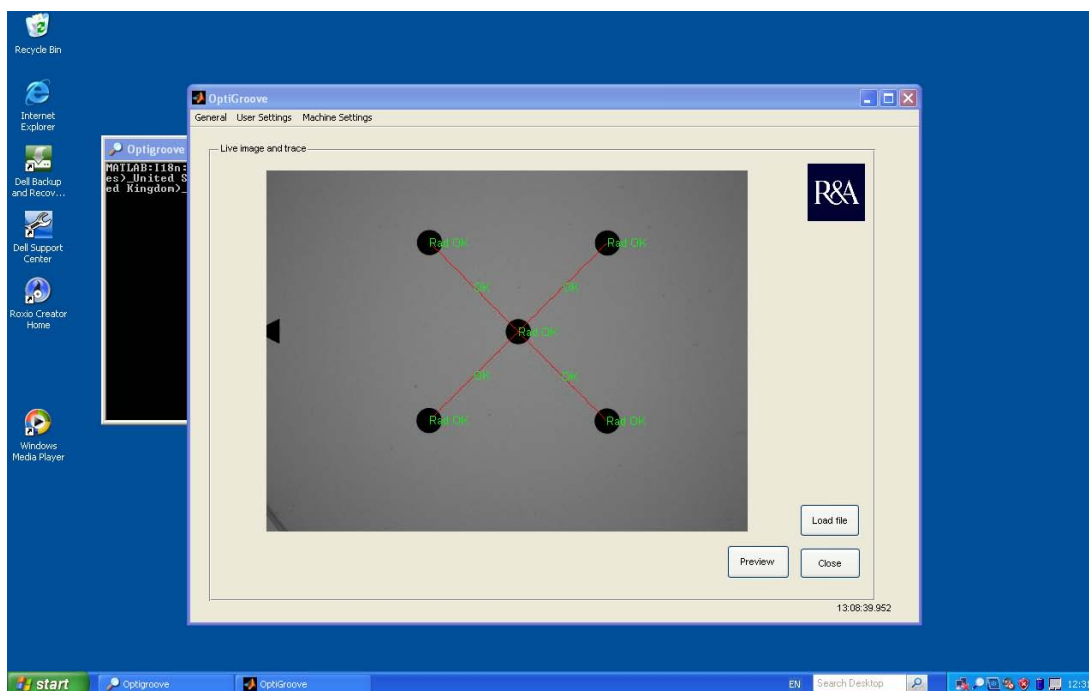
周囲光が安定して落ち着くまで少々時間をとってから次のステップに進んで下さい。
(通常測定の場合も周囲光の安定は計測安定上非常に重要な要素になっています。)

5. ラップトップ画面プルダウンより **General**→**Calibration Verification** を選ぶ



プログラム動作中は **Verifying.** というメッセージボックスが出てきてOKボタンが表示されますが **何もせずに暫く待機して**下さい。

6. 暫くするとプログラムによる較正確認が終了し、問題がなければ下記画面が現れます。



万一 OK ではない表示が出てきた場合には較正が崩れている可能性（経時、外的要因など）があります。ゲージについている矢印マークを東西南北にそれぞれ 90 度毎にのせて各々上記の手順を踏み、弊社まで画像を送付下さい。

再較正が必要と判断された場合には装置一式を弊社まで送付戴き弊社にて較正作業を承ります。

較正ゲージによる精度確認はできれば毎回の作業前に行ってください。どのような要因で較正が崩れているかは予測できないため、安心して計測作業を続けて戴くために頻繁にチェックすることをお勧め致します。

なお、ご参考までに、オプティグループ収納の際にはケーブルが破損しないよう下図のようにコンベックス等を使ってガイドに固定して下さい。



- End of Calibration Verification Gauge 使用ガイド -